

大久保一翁 （一八三〇—一九〇〇） 舊幕臣、歌人。文化十四年十一月（二十九日）江戸（一
番町）生れ、明治二十一年七月三十一日歿（八七歳）。（大正） 諱忠寛、初め
忠正、通稱金之助、三市郎、志摩守、右近、將監、伊勢守、越中守。
號自新齋、朗善館、櫻園、白石老人、石泉、自由樂地齋、藤原忠寛、
虛堂等。安政元年老中阿部正弘に登用せられ、自附兼海防番、翌年蕃
書調所頭取等要職に就くも、大老井伊直弼に排斥せられて罷免。文久
元年以後再び外國奉行等に任じ、大政奉還を建言。慶應二年隱居剃髮
して一翁と稱した。戊辰戦では徳川家のためを盡す。維新後、静岡藩
權大參事、東京府知事等歴任。元老院議員、子爵。勝海舟、山岡鐵舟
と共に舊幕注の柱石。

歌集「櫻園集」（明治二十五年十二月—二十七年勝安芳論刊）。

